

講義名	教養特講Ⅰ（人の心を科学的に考える）		
科目区分	教養特講		
担当教員	池田 曜子		
開講期・曜日・時限	前期 金曜日 3時限	授業形態	
	2020年度 人間社会学部 人間健康学科/2020年度 人間社会学部 観光学科/2020年度 人間社会学部 人間社会学科/2020年度 経済学部 経済情報学科/2020年度 経済学部 経済学科/2020年度 商学部 マーケティング学科/2020年度 商学部 経営学科		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

<b>主題と概要</b>
人の心については、現代社会では日常内の多様な機会を取りあげられるようになっている。そのため、これまで聞いたり体験したりした内容から、なんとなく知っているつもりになっている人もいるかもしれない。しかし、心とはいったい何を指しているのか、そして、科学的に心をとらえるとはいったいどのようなことなのかについて考える機会、あまりなかったのではないだろうか。 本講義では、受講者が、考え、感じ、行動する力とそのメカニズムを知ることによって、改めて人の心について思索をめぐらせ、日常生活や今後の大学生活について考えるきっかけとなることをめざしている。

<b>到達目標</b>
①科学的な考え方とは何かを理解できる ②講義でとりあげた内容について、自分の日常生活内の事例を探ることができる ③人の心について自分なりにとらえ直し、今後の日常生活内において活用することができる

<b>提出課題</b>
名回の授業への感想 課題に対する成果物

<b>課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック</b>
各授業時に提出していただいた課題内容について共有すべき内容や質問については、次週の授業の初めにフィードバックを行います。

<b>評価の基準</b>
最終試験（70%）と授業内での課題（30%）を総合的に評価する。

<b>履修にあたっての注意・助言他</b>
人の心について関心を持ち、自分なりに考えることが必要です。 ただ知るだけでなく、自分の日常生活や行動に照らし合わせて、応用できるものとしてください。 授業においては、配布資料にメモを取る癖をつけ、授業を受ける態度を身につけてください。 2時間連続の授業は、集中力を保つことが困難となりますが、自分なりに工夫して対応してください。 受講者数によっては、座席指定をすることがあります。その場合は、指定された座席に着席し、受講するようにしてください。

<b>教科書</b>
. 使用しない。

<b>プリント資料及び参考文献</b>
授業内において資料を配布します。 参考文献は、授業内で紹介します。

<b>授業計画</b>
1. 人の心とは何か/科学的な考え方とは何か 2. 記憶と認知 (1) 3. 記憶と認知 (2) 4. 画像とイメージ 5. 空間の認知 6. 人間の発達 7. ほめることの大切さ (1) 8. ほめることの大切さ (2) 9. 「やる気」とはなにか (1) 10. 「やる気」とはなにか (2) 11. 幸福感 12. 学習方略 (1) 13. 学習方略 (2) 14. メタ認知 15. 最終試験

<b>授業形態（アクティブ・ラーニング）</b>
ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

<b>準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間</b>
予習：各回で配布された資料を再度確認し、理解を深めるとともに不明な点を明らかにしてから次の授業にのぞむこと（2時間） 復習：授業の内容を振り返り、自分の日常生活において事例を探し、実践を試みること（2時間）

<b>双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述</b>

<b>実務経験の有無及び活用</b>

<b>備考</b>
自分で選んで受講したことを忘れず、積極的な態度で授業に参加してください。 また、新たなことに興味・関心を持ち、これまでとは違った見方をしてみることを心がけてください。